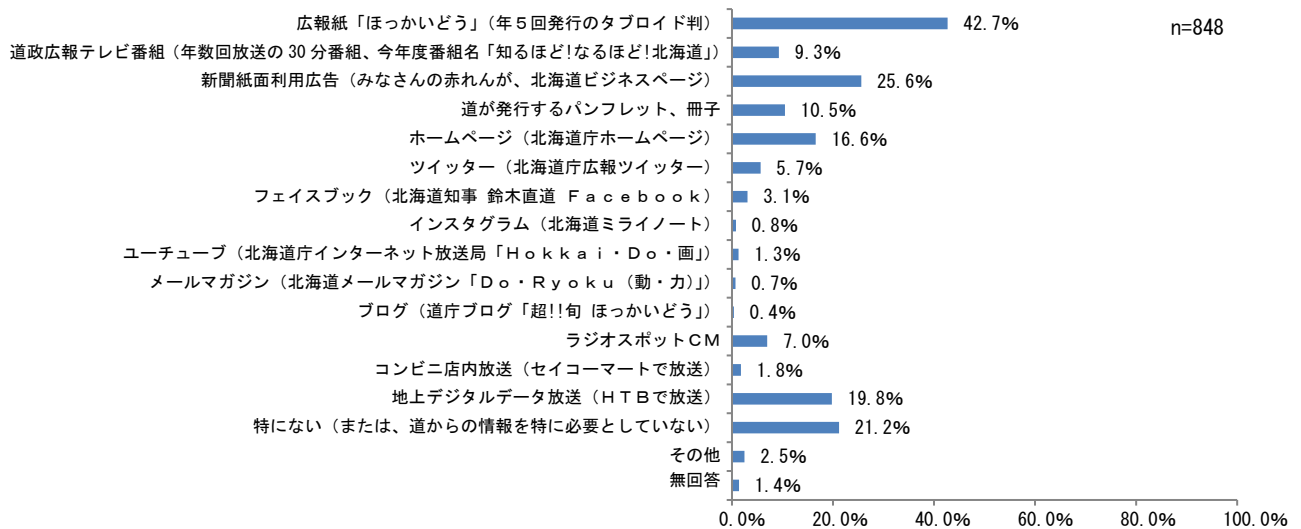


5 北海道の広報活動について

問1 あなたは、道政に関する情報をどの媒体から入手されていますか。
次の中からいくつでもお選びください。



【全体】

「広報紙「ほっかいどう」(42.7%)と答えた方の割合が最も高く、次いで「新聞紙面利用広告」(25.6%)、「特にない(または、道からの情報を特に必要としていない)」(21.2%)の順となっている。

【圏域別】

「広報紙「ほっかいどう」については、道南連携地域(53.6%)が最も割合が高く、次いで道央広域連携地域(45.1%)となっている。「新聞紙面利用広告」については、道南連携地域(39.1%)が最も割合が高く、次いで釧路・根室連携地域(34.7%)となっている。

【人口規模別】

「広報紙「ほっかいどう」については、札幌市(50.2%)が最も割合が高く、次いで人口10万人以上の市(43.3%)となっている。「新聞紙面利用広告」については、人口10万人以上の市(29.8%)が最も割合が高く、次いで札幌市(25.7%)となっている。

【性別】

「広報紙「ほっかいどう」については、男性42.7%、女性42.9%となっており、「新聞紙面利用広告」については、男性28.2%、女性24.0%となっている。

【年代別】

「広報紙「ほっかいどう」については、70歳以上(67.3%)が最も割合が高く、次いで60~69歳(59.5%)となっている。「新聞紙面利用広告」については、60~69歳(47.9%)が最も割合が高く、次いで70歳以上(45.5%)となっている。

【職種別】

「広報紙「ほっかいどう」については、主婦(57.5%)が最も割合が高く、次いで自由業(47.8%)となっている。「新聞紙面利用広告」については、無職(41.4%)が最も割合が高く、次いで主婦(33.5%)となっている。

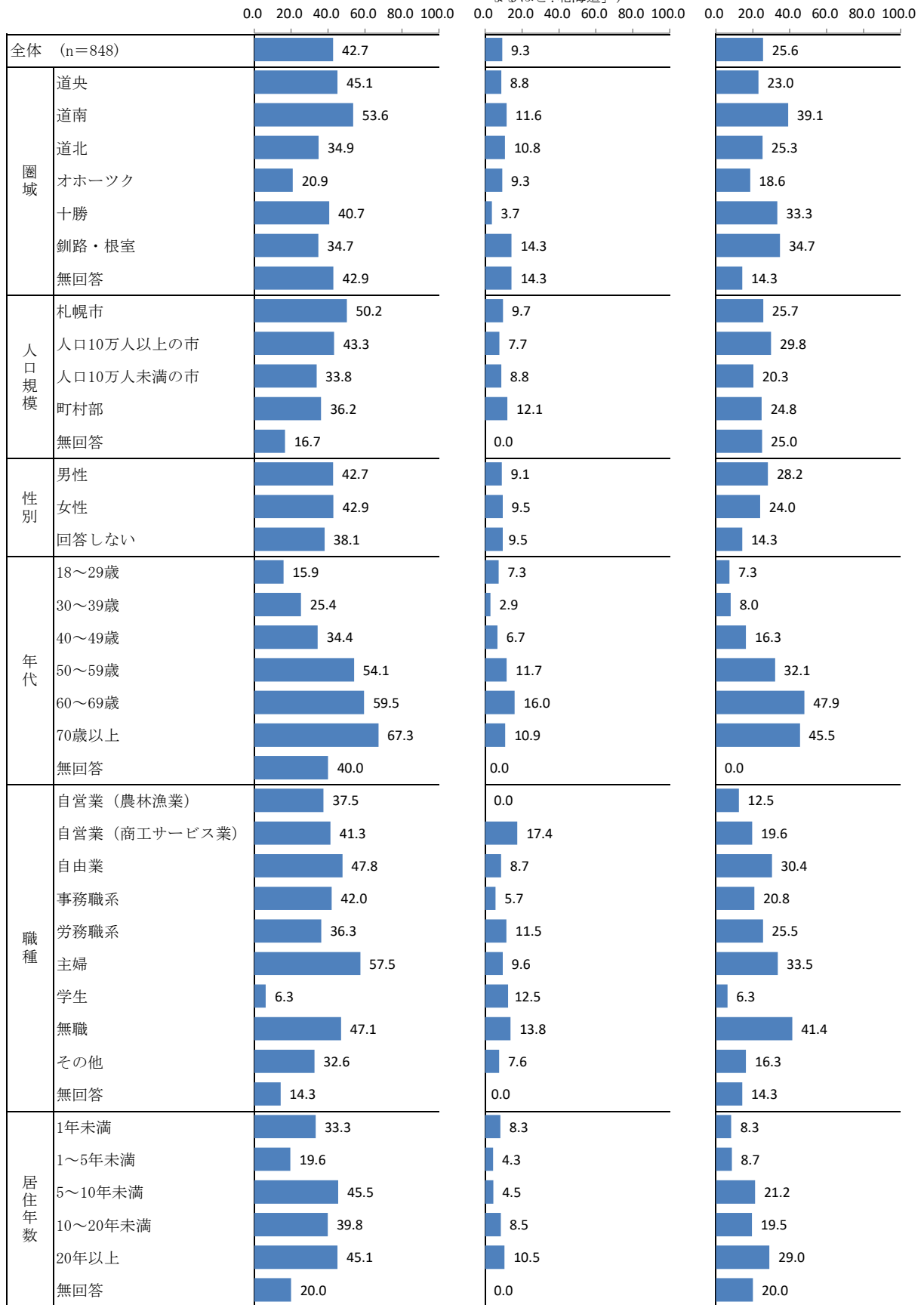
【居住年数別】

「広報紙「ほっかいどう」については、5~10年未満(45.5%)が最も割合が高く、次いで20年以上(45.1%)となっている。「新聞紙面利用広告」については、20年以上(29.0%)が最も割合が高く、次いで5~10年未満(21.2%)となっている。

広報紙「ほっかいどう」
(年5回発行のタブロイド判)

道政広報テレビ番組
(年数回放送の30分番組、
今年度番組名「知るほど!
なるほど!北海道」)

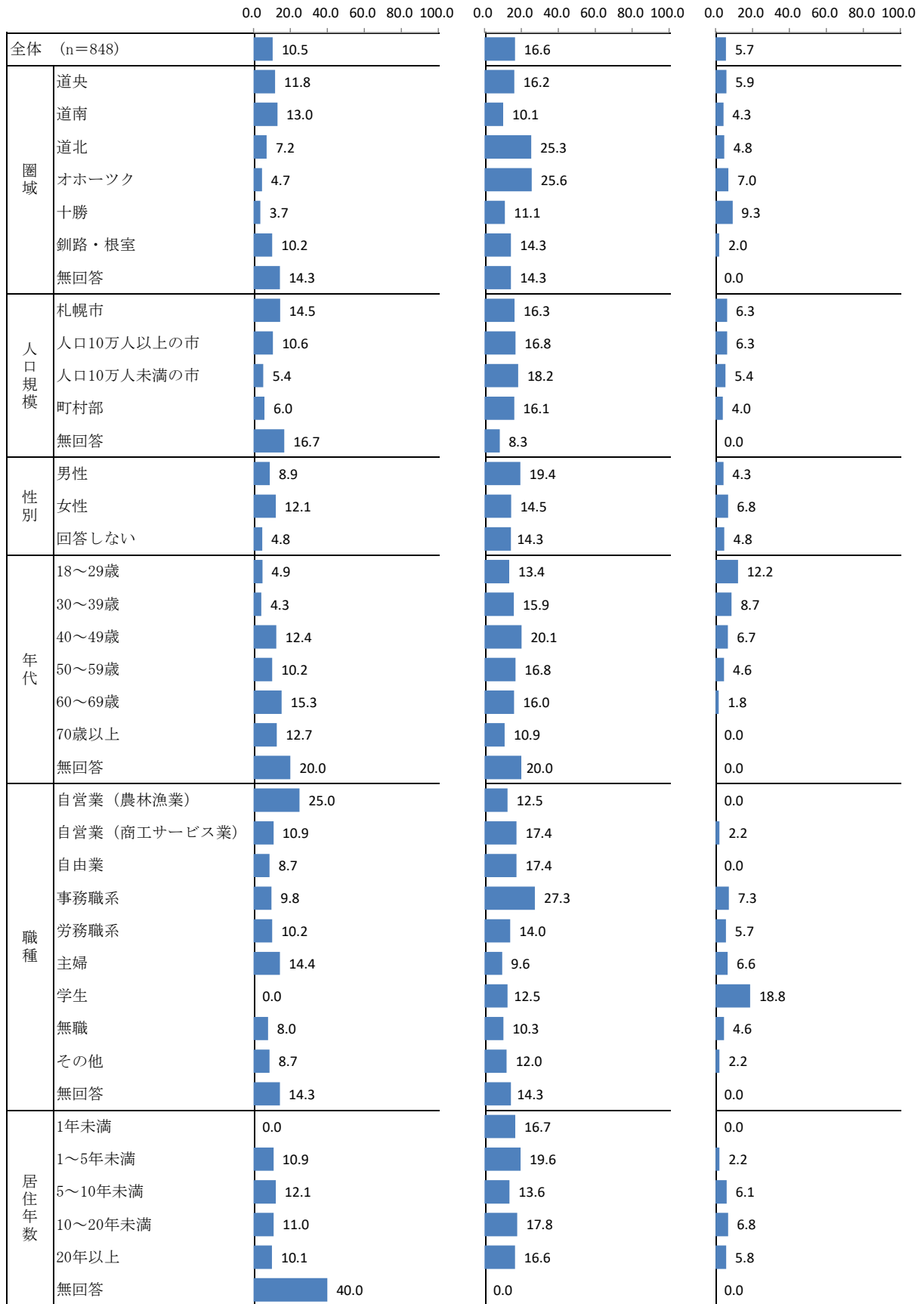
新聞紙面利用広告
(みなさんの赤れんが、北海
道ビジネスページ)

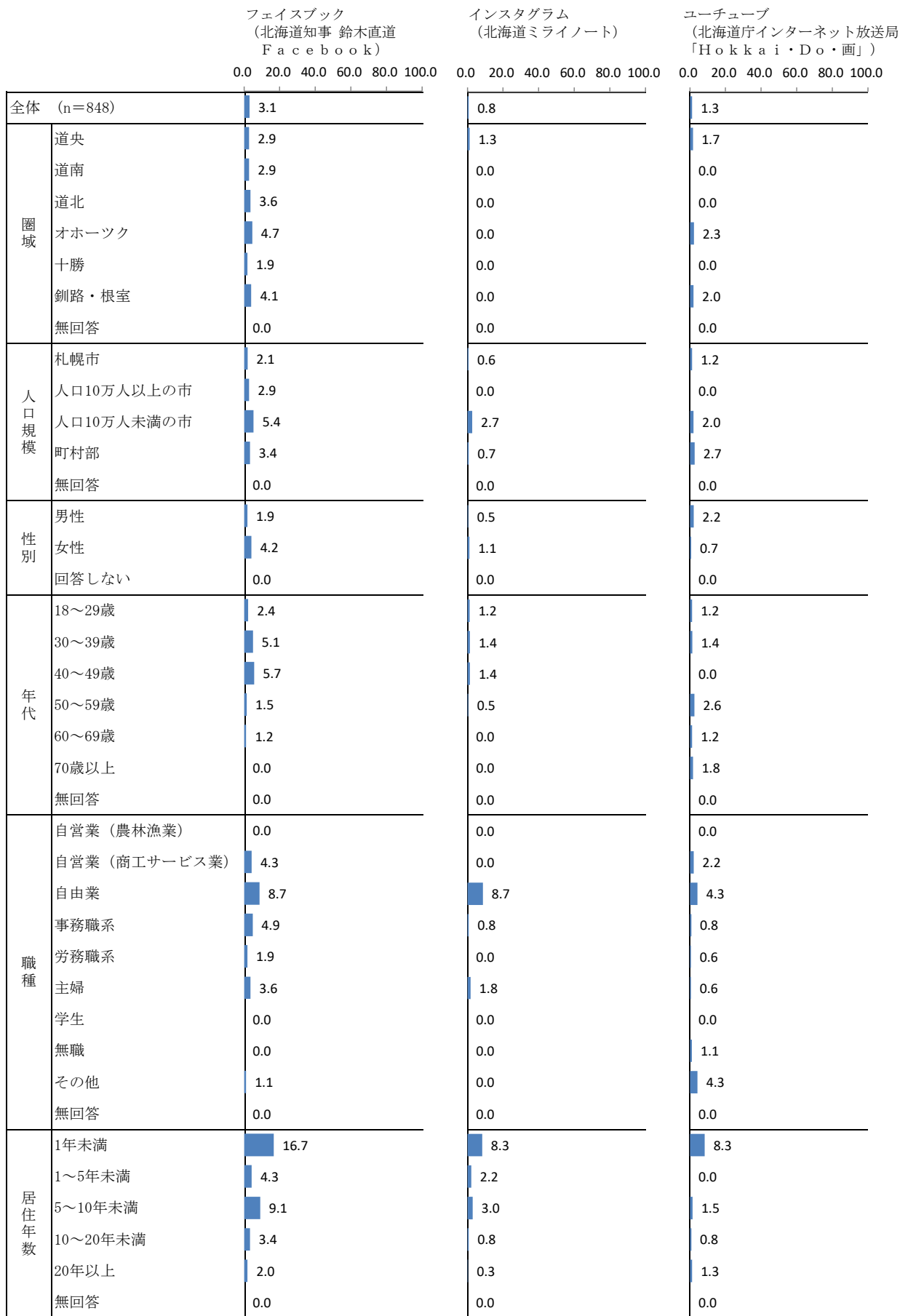


道が発行するパンフレット、冊子

ホームページ（北海道庁ホームページ）

ツイッター（北海道庁広報ツイッター）

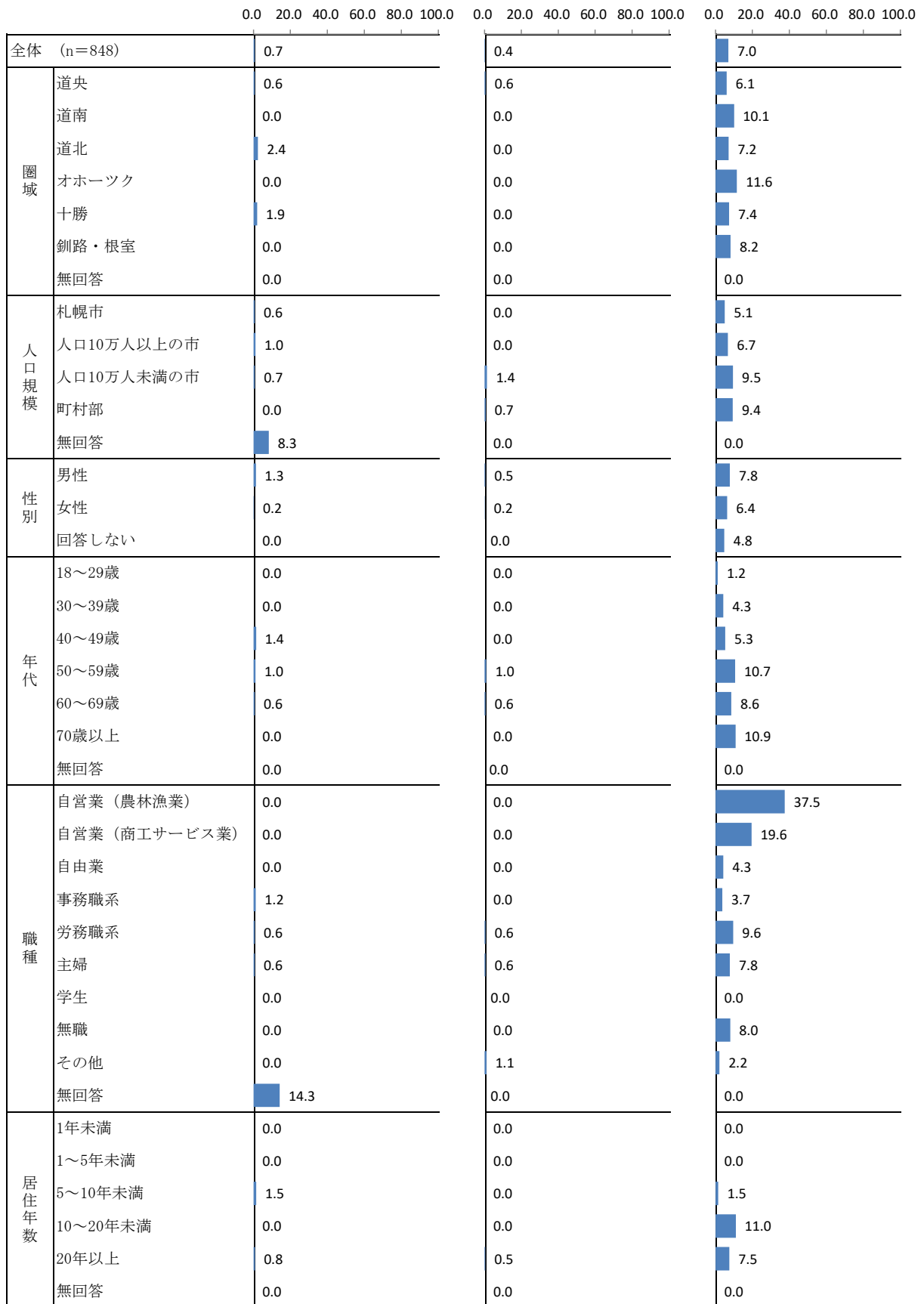


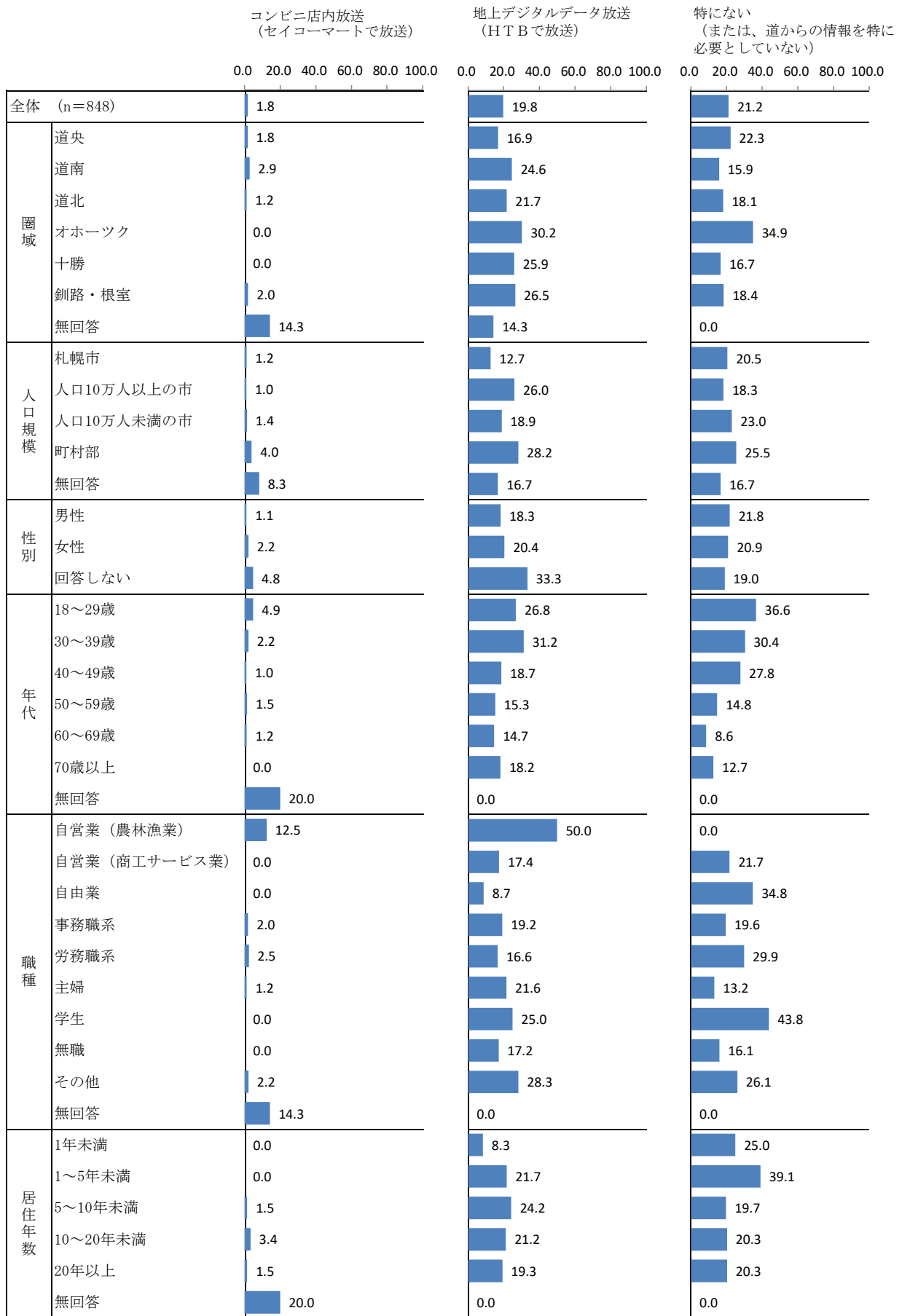


メールマガジン
(北海道メールマガジン「D o ・
R y o k u (動 ・ 力) 」)

ブログ
(道庁ブログ「超!!旬 ほっ
かいどう」)

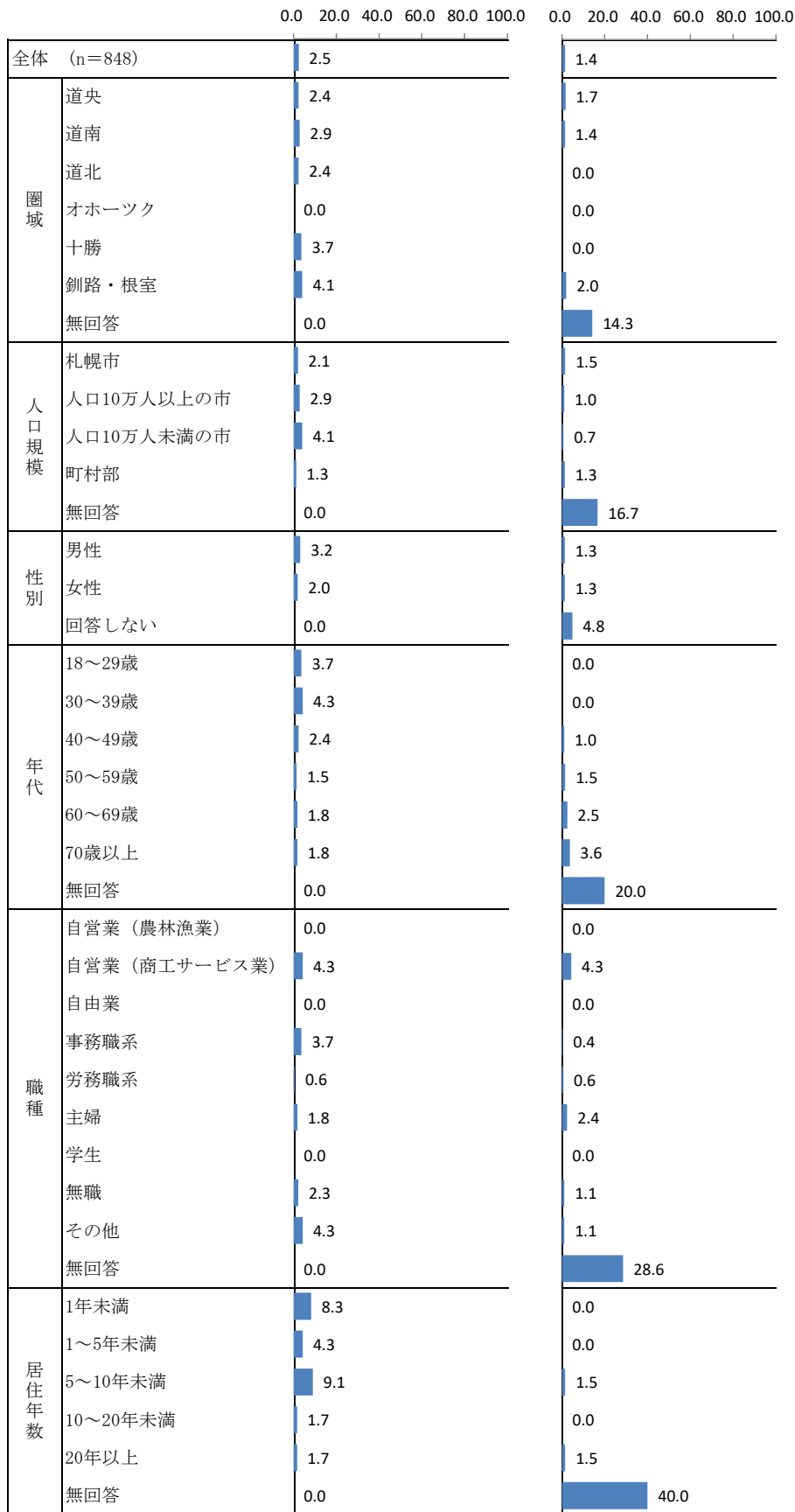
ラジオスポットCM



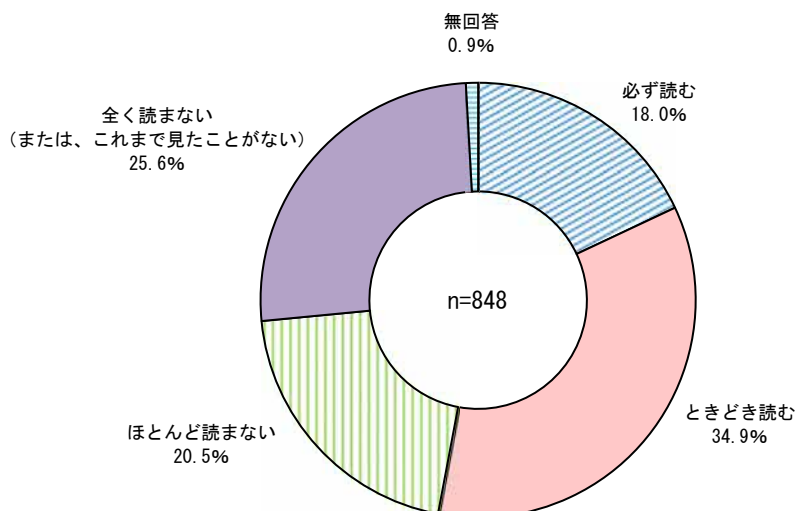


その他

無回答



問2 あなたは、新聞折り込み等で年5回配布している広報紙「ほっかいどう」をどの程度読めますか。次の中から1つだけお選びください。



【全体】

「ときどき読む」(34.9%)と答えた方の割合が最も高く、次いで「全く読まない(または、これまで見たことがない)」(25.6%)、「ほとんど読まない」(20.5%)の順となっている。

【圏域別】

「ときどき読む」については、道北連携地域(48.2%)が最も割合が高く、次いで道南連携地域(44.9%)となっている。「全く読まない(または、これまで見たことがない)」については、オホーツク連携地域(37.2%)が最も割合が高く、次いで釧路・根室連携地域(32.7%)となっている。

【人口規模別】

「ときどき読む」については、人口10万人以上の市(39.9%)が最も割合が高く、次いで町村部(34.2%)となっている。「全く読まない(または、これまで見たことがない)」については、町村部(31.5%)が最も割合が高く、次いで人口10万人未満の市(29.1%)となっている。

【性別】

「ときどき読む」については、男性36.8%、女性33.4%となっており、「全く読まない(または、これまで見たことがない)」については、男性22.8%、女性27.7%となっている。

【年代別】

「ときどき読む」については、50～59歳(46.9%)が最も割合が高く、次いで70歳以上(45.5%)となっている。「全く読まない(または、これまで見たことがない)」については、18～29歳(57.3%)が最も割合が高く、次いで30～39歳(47.1%)となっている。

【職種別】

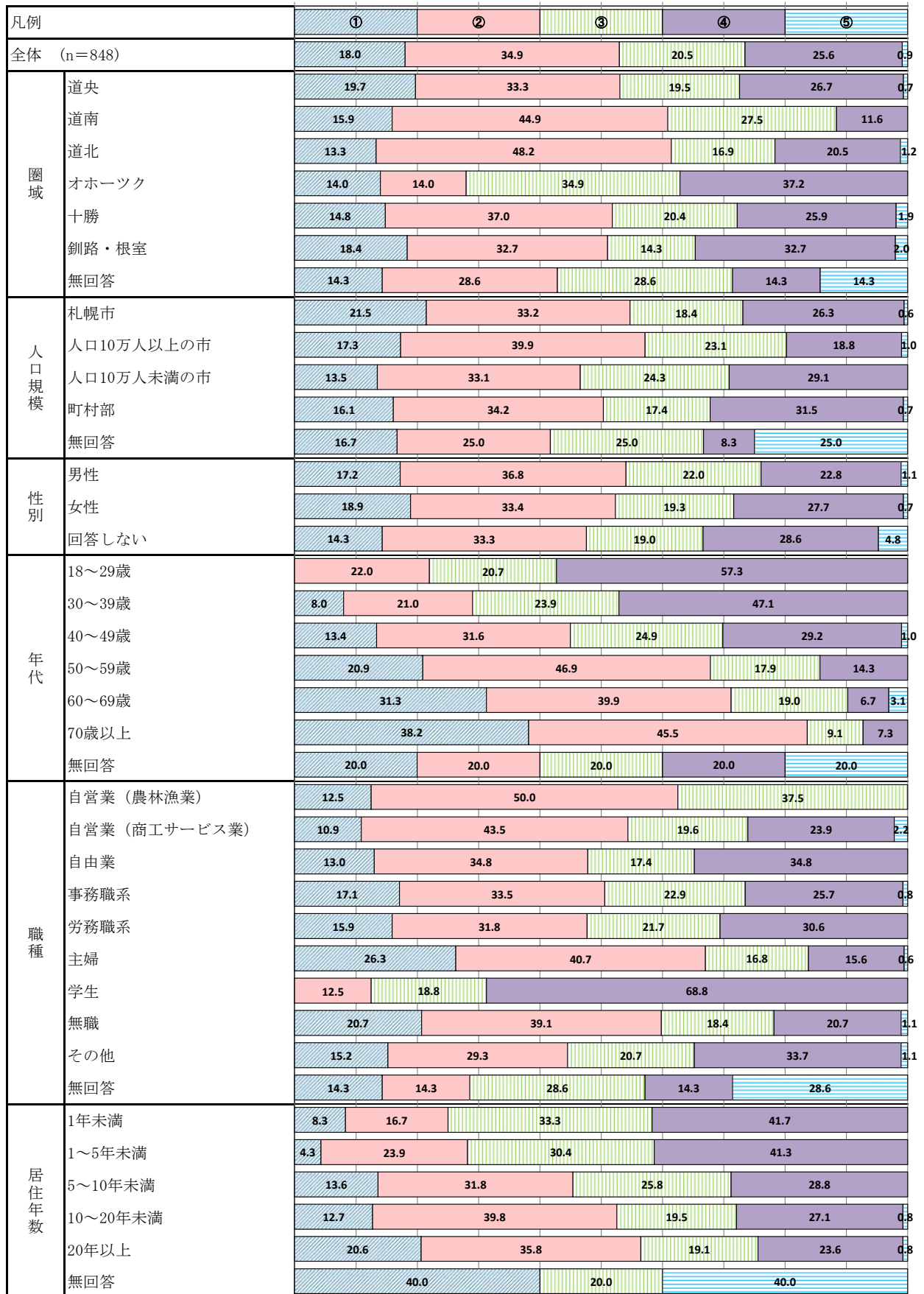
「ときどき読む」については、自営業(商工サービス業)(43.5%)が最も割合が高く、次いで主婦(40.7%)となっている。「全く読まない(または、これまで見たことがない)」については、学生(68.8%)が最も割合が高く、次いで自由業(34.8%)となっている。

【居住年数別】

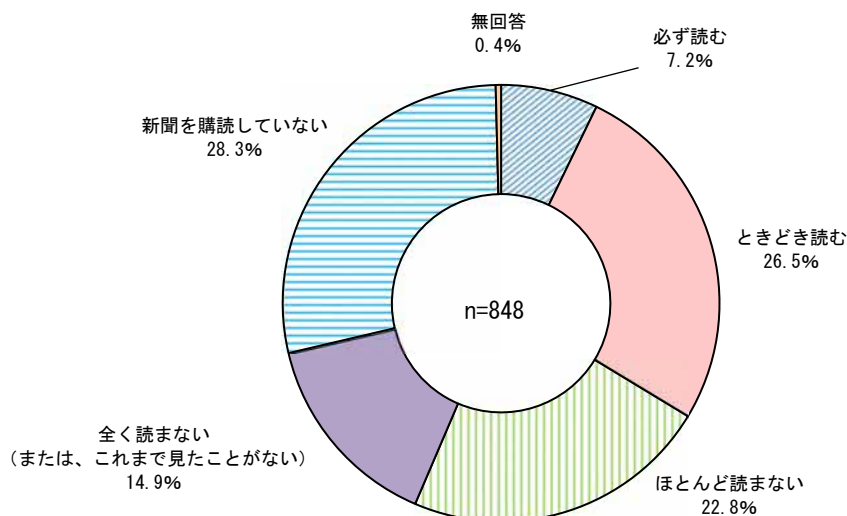
「ときどき読む」については、10～20年未満(39.8%)が最も割合が高く、次いで20年以上(35.8%)となっている。「全く読まない(または、これまで見たことがない)」については、1年未満(41.7%)が最も割合が高く、次いで1～5年未満(41.3%)となっている。

①必ず読む ②ときどき読む ③ほとんど読まない
 ④全く読まない（または、これまで見たことがない） ⑤無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



問3 あなたは、新聞紙面利用広報（「みなさんの赤れんが」（北海道新聞、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞で毎月掲載）、「北海道ビジネスページ」（日本経済新聞で年6回掲載））をどの程度ご覧になりますか。次の中から1つだけお選びください。



【全体】

「新聞を購読していない」(28.3%)と答えた方の割合が最も高く、次いで「ときどき読む」(26.5%)、「ほとんど読まない」(22.8%)の順となっている。

【圏域別】

「新聞を購読していない」については、オホーツク連携地域(39.5%)が最も割合が高く、次いで道央広域連携地域(30.8%)となっている。「ときどき読む」については、道南連携地域(39.1%)が最も割合が高く、次いで道北連携地域(37.3%)となっている。

【人口規模別】

「新聞を購読していない」については、人口10万人未満の市(36.5%)が最も割合が高く、次いで札幌市(32.6%)となっている。「ときどき読む」については、人口10万人以上の市(30.3%)が最も割合が高く、次いで札幌市(27.8%)となっている。

【性別】

「新聞を購読していない」については、男性25.5%、女性30.1%となっており、「ときどき読む」については、男性29.0%、女性25.3%となっている。

【年代別】

「新聞を購読していない」については、30～39歳(51.4%)が最も割合が高く、次いで18～29歳(43.9%)となっている。「ときどき読む」については、70歳以上(49.1%)が最も割合が高く、次いで60～69歳(43.6%)となっている。

【職種別】

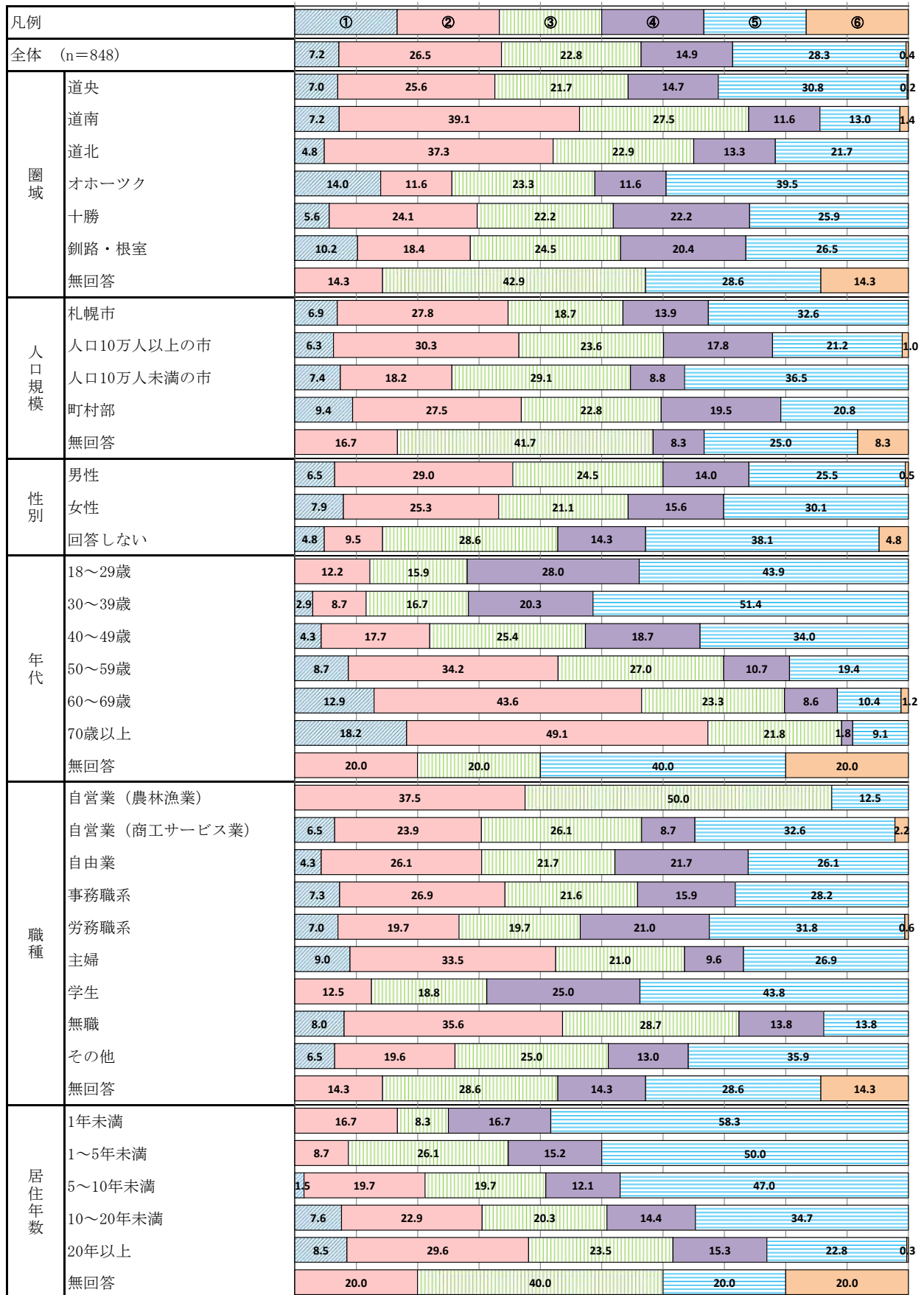
「新聞を購読していない」については、学生(43.8%)が最も割合が高く、次いでその他(35.9%)となっている。「ときどき読む」については、無職(35.6%)が最も割合が高く、次いで主婦(33.5%)となっている。

【居住年数別】

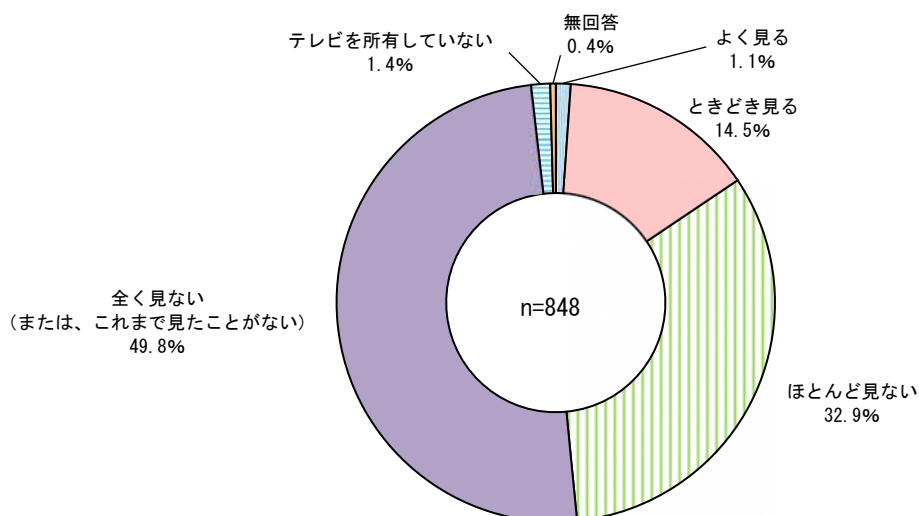
「新聞を購読していない」については、1年未満(58.3%)が最も割合が高く、次いで1～5年未満(50.0%)となっている。「ときどき読む」については、20年以上(29.6%)が最も割合が高く、次いで10～20年未満(22.9%)となっている。

- ①必ず読む
- ②ときどき読む
- ③ほとんど読まない
- ④全く読まない（または、これまで見たことがない）
- ⑤新聞を購読していない
- ⑥無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



問4 あなたは、年数回放送している道政広報テレビ番組（30分番組、今年度番組名「知るほど！なるほど！北海道」）をどの程度ご覧になりますか。
次の中から一つだけお選びください。



【全体】

「全く見ない (または、これまで見たことがない)」(49.8%)と答えた方の割合が最も高く、次いで「ほとんど見ない」(32.9%)、「ときどき見る」(14.5%)の順となっている。

【圏域別】

「全く見ない (または、これまで見たことがない)」については、オホーツク連携地域 (58.1%) が最も割合が高く、次いで道北連携地域 (51.8%) となっている。「ほとんど見ない」については、道南連携地域 (47.8%) が最も割合が高く、次いで十勝連携地域 (44.4%) となっている。

【人口規模別】

「全く見ない (または、これまで見たことがない)」については、人口 10 万人未満の市 (53.4%) が最も割合が高く、次いで札幌市 (49.8%) となっている。「ほとんど見ない」については、札幌市 (34.4%) が最も割合が高く、次いで人口 10 万人以上の市 (33.2%) となっている。

【性別】

「全く見ない (または、これまで見たことがない)」については、男性 45.2%、女性 53.0% となっており、「ほとんど見ない」については、男性 37.1%、女性 30.3% となっている。

【年代別】

「全く見ない (または、これまで見たことがない)」については、30～39 歳 (71.7%) が最も割合が高く、次いで 18～29 歳 (67.1%) となっている。「ほとんど見ない」については、60～69 歳 (50.9%) が最も割合が高く、次いで 70 歳以上 (45.5%) となっている。

【職種別】

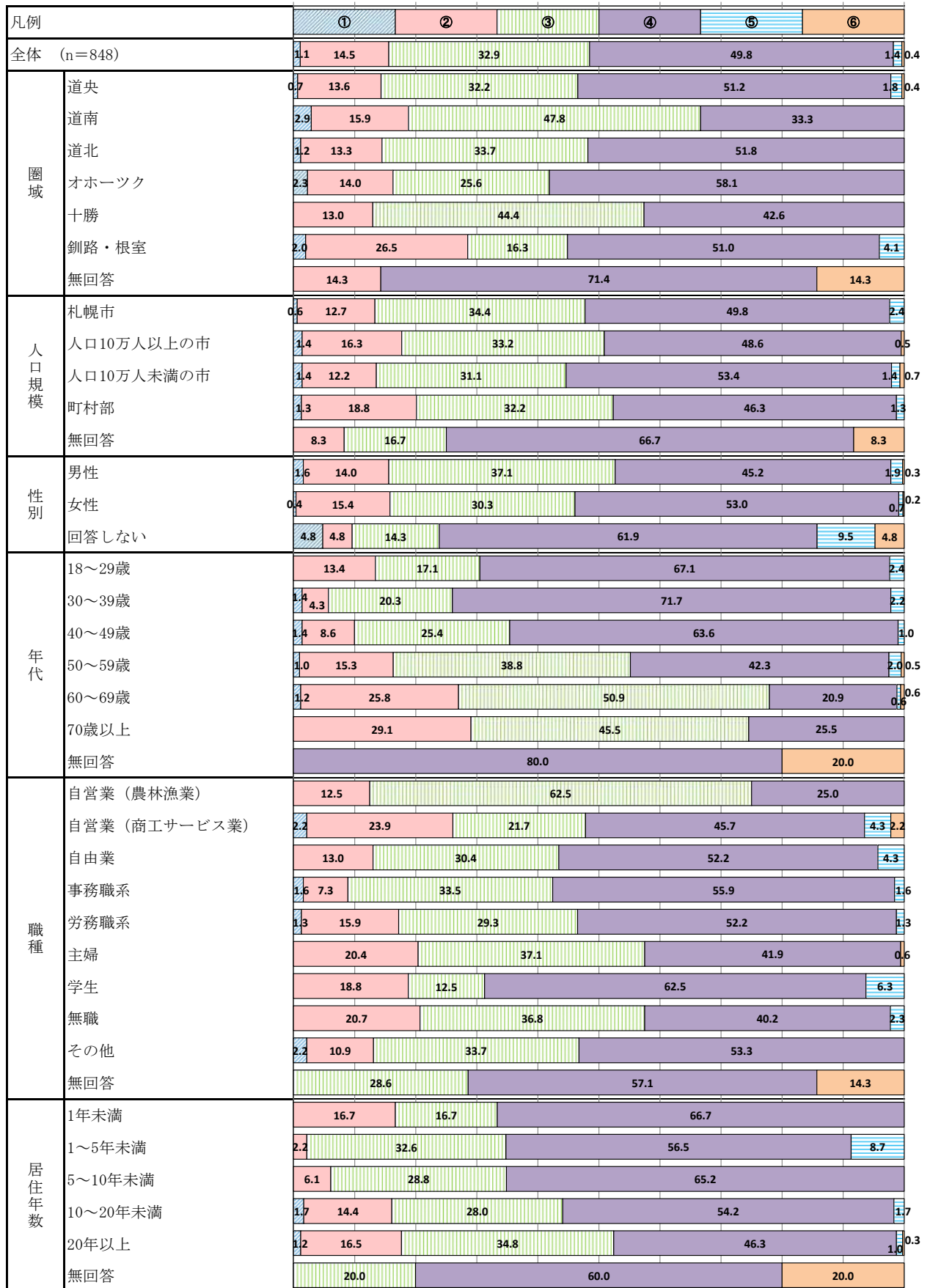
「全く見ない (または、これまで見たことがない)」については、学生 (62.5%) が最も割合が高く、次いで事務職系 (55.9%) となっている。「ほとんど見ない」については、主婦 (37.1%) が最も割合が高く、次いで無職 (36.8%) となっている。

【居住年数別】

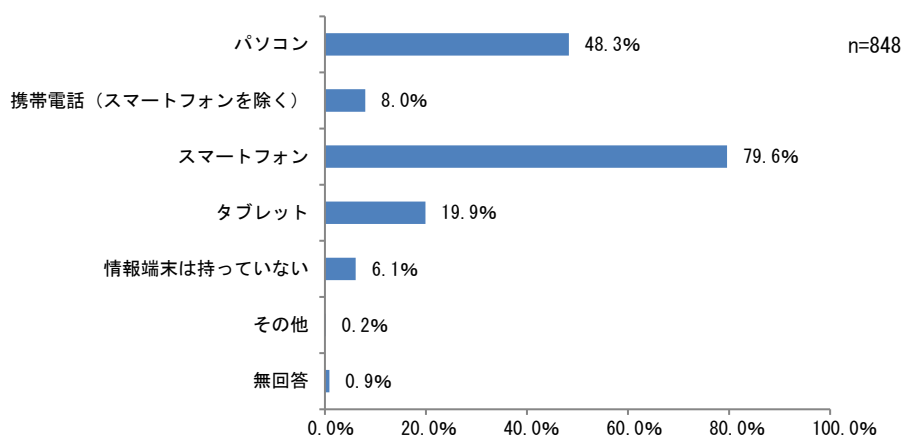
「全く見ない (または、これまで見たことがない)」については、1 年未満 (66.7%) が最も割合が高く、次いで 5～10 年未満 (65.2%) となっている。「ほとんど見ない」については、20 年以上 (34.8%) が最も割合が高く、次いで 1～5 年未満 (32.6%) となっている。

- ①よく見る ②ときどき見る ③ほとんど見ない
 ④全く見ない（または、これまで見たことがない） ⑤テレビを所有していない
 ⑥無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



問5 あなたは、普段、自宅や職場ではどのような機器（情報端末）を使って、インターネットからの情報を入手していますか。
次の中からいくつでもお選びください。



【全体】

「スマートフォン」(79.6%)と答えた方の割合が最も高く、次いで「パソコン」(48.3%)、「タブレット」(19.9%)の順となっている。

【圏域別】

「スマートフォン」については、オホーツク連携地域(88.4%)が最も割合が高く、次いで道北連携地域(81.9%)となっている。「パソコン」については、道北連携地域(55.4%)が最も割合が高く、次いでオホーツク連携地域(53.5%)となっている。

【人口規模別】

「スマートフォン」については、人口10万人未満の市(83.1%)が最も割合が高く、次いで人口10万人以上の市(80.8%)となっている。「パソコン」については、札幌市(53.5%)が最も割合が高く、次いで人口10万人未満の市(48.6%)となっている。

【性別】

「スマートフォン」については、男性76.9%、女性82.2%となっており、「パソコン」については、男性59.4%、女性39.8%となっている。

【年代別】

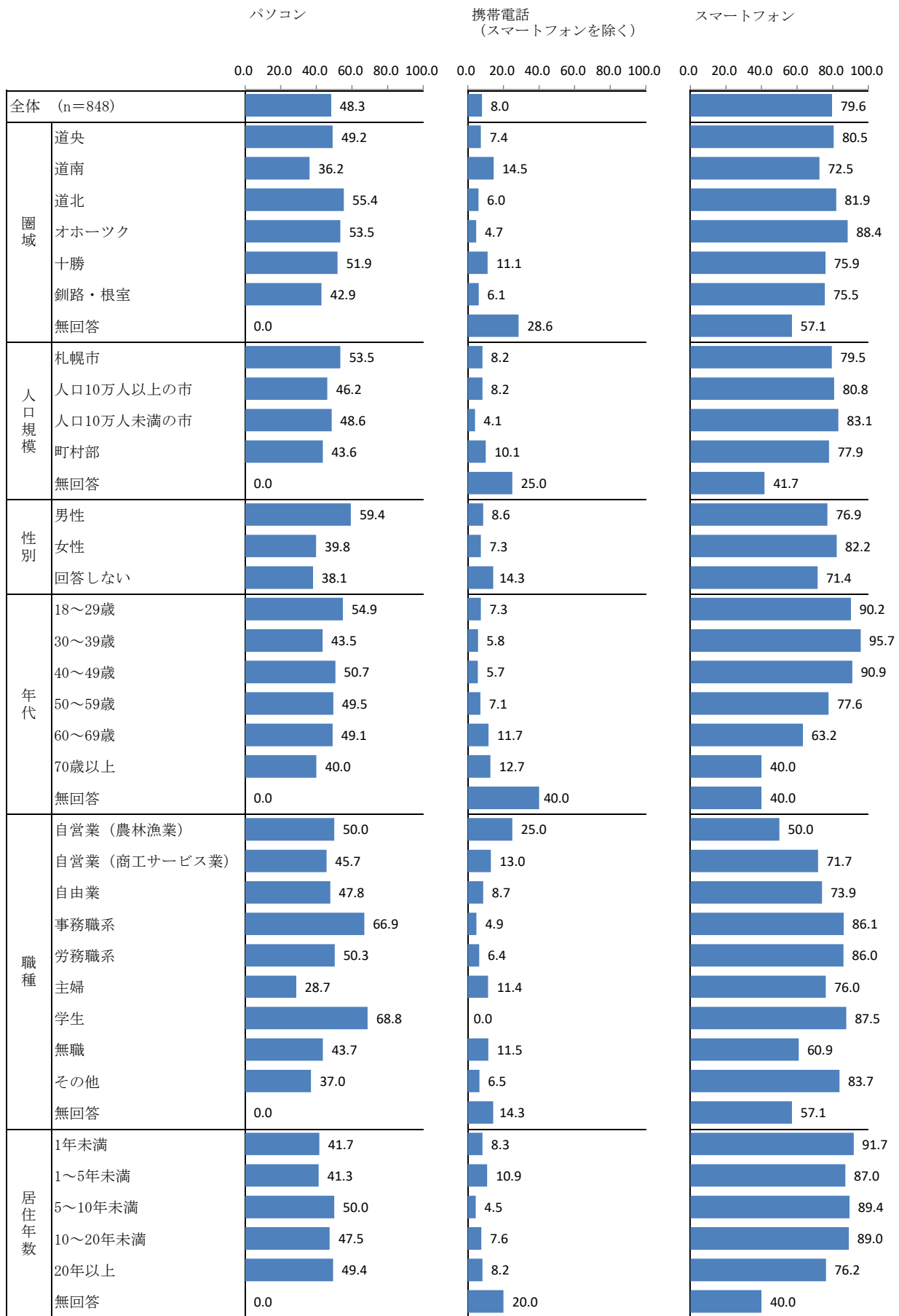
「スマートフォン」については、30～39歳(95.7%)が最も割合が高く、次いで40～49歳(90.9%)となっている。「パソコン」については、18～29歳(54.9%)が最も割合が高く、次いで40～49歳(50.7%)となっている。

【職種別】

「スマートフォン」については、学生(87.5%)が最も割合が高く、次いで事務職系(86.1%)となっている。「パソコン」については、学生(68.8%)が最も割合が高く、次いで事務職系(66.9%)となっている。

【居住年数別】

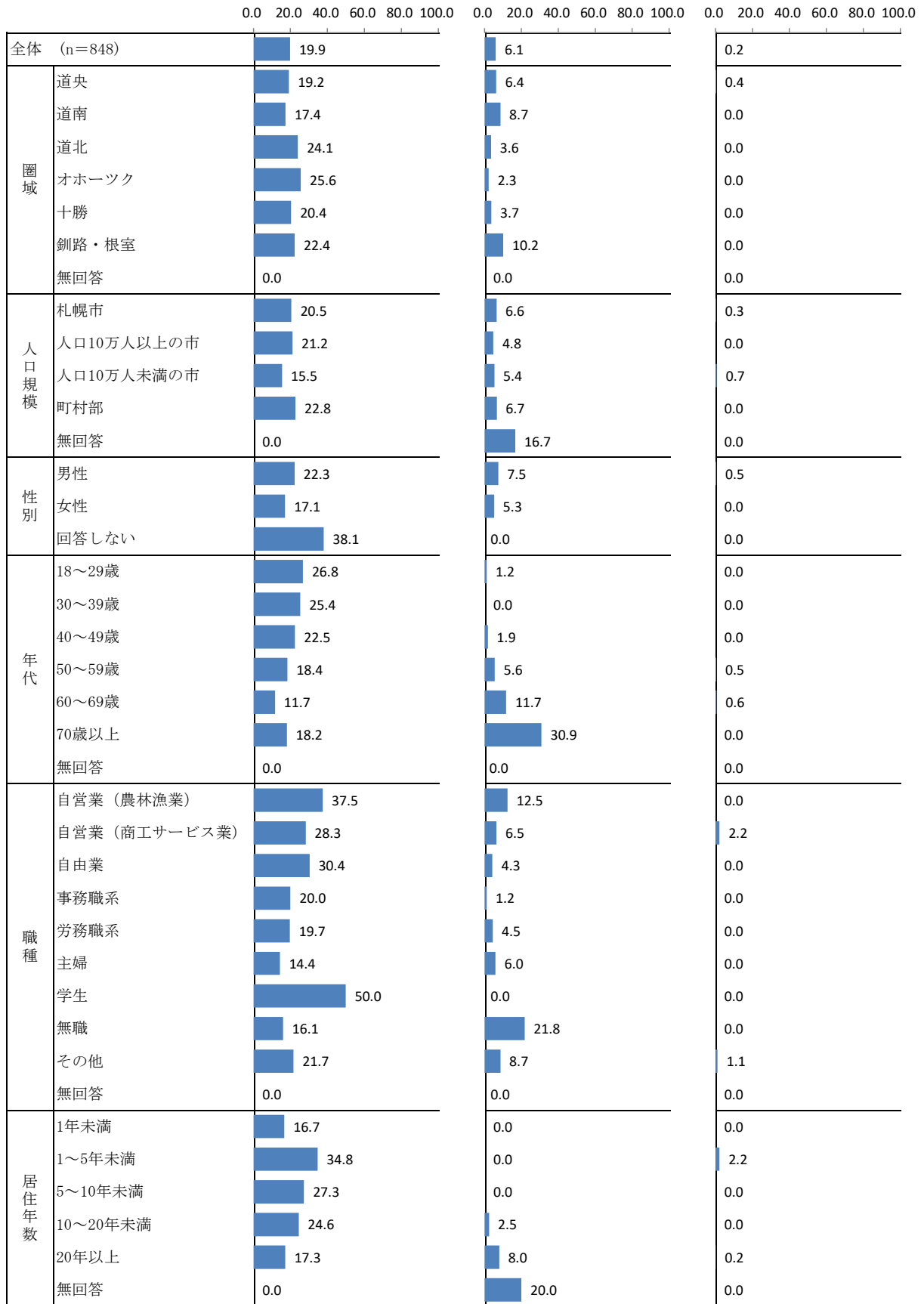
「スマートフォン」については、1年未満(91.7%)が最も割合が高く、次いで5～10年未満(89.4%)となっている。「パソコン」については、5～10年未満(50.0%)が最も割合が高く、次いで20年以上(49.4%)となっている。



タブレット

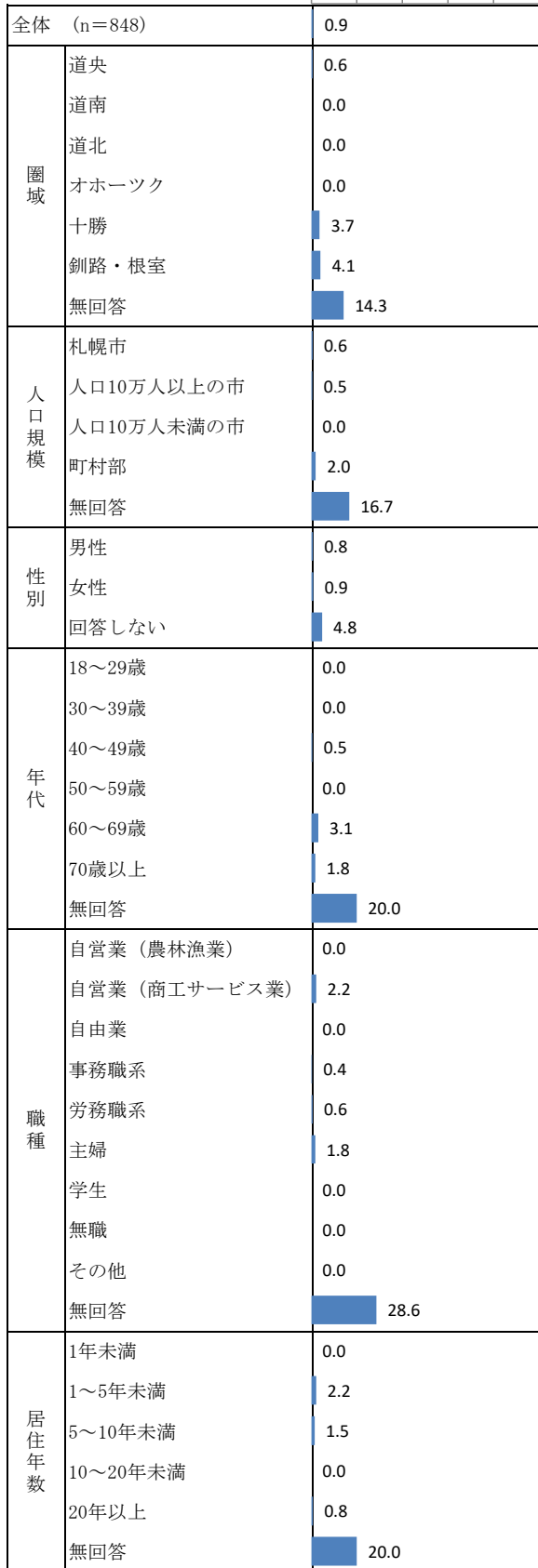
情報端末は持っていない

その他

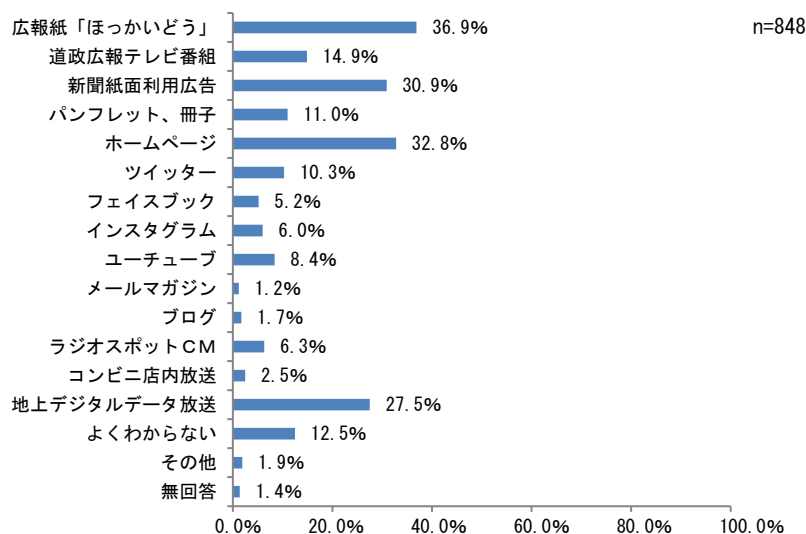


無回答

0.0 20.0 40.0 60.0 80.0 100.0



問6 あなたは、今後、道政に関する情報を入手する際に、どのような広報媒体を主に利用したいと思いますか。次の中からいくつでもお選びください。



【全体】

「広報紙「ほっかいどう」(36.9%)と答えた方の割合が最も高く、次いで「ホームページ」(32.8%)、「新聞紙面利用広告」(30.9%)の順となっている。

【圏域別】

「広報紙「ほっかいどう」については、道南連携地域(40.6%)が最も割合が高く、次いで道央広域連携地域(40.1%)となっている。「ホームページ」については、道北連携地域(41.0%)が最も割合が高く、次いでオホーツク連携地域(34.9%)となっている。

【人口規模別】

「広報紙「ほっかいどう」については、札幌市(44.7%)が最も割合が高く、次いで人口10万人以上の市(37.0%)となっている。「ホームページ」については、人口10万人以上の市(35.1%)が最も割合が高く、次いで人口10万人未満の市(34.5%)となっている。

【性別】

「広報紙「ほっかいどう」については、男性37.4%、女性36.7%となっており、「ホームページ」については、男性37.1%、女性28.8%となっている。

【年代別】

「広報紙「ほっかいどう」については、70歳以上(69.1%)が最も割合が高く、次いで60～69歳(54.0%)となっている。「ホームページ」については、50～59歳(38.8%)が最も割合が高く、次いで40～49歳(36.4%)となっている。

【職種別】

「広報紙「ほっかいどう」については、無職(50.6%)が最も割合が高く、次いで主婦(49.1%)となっている。「ホームページ」については、事務職系(45.3%)が最も割合が高く、次いで労務職系(35.0%)となっている。

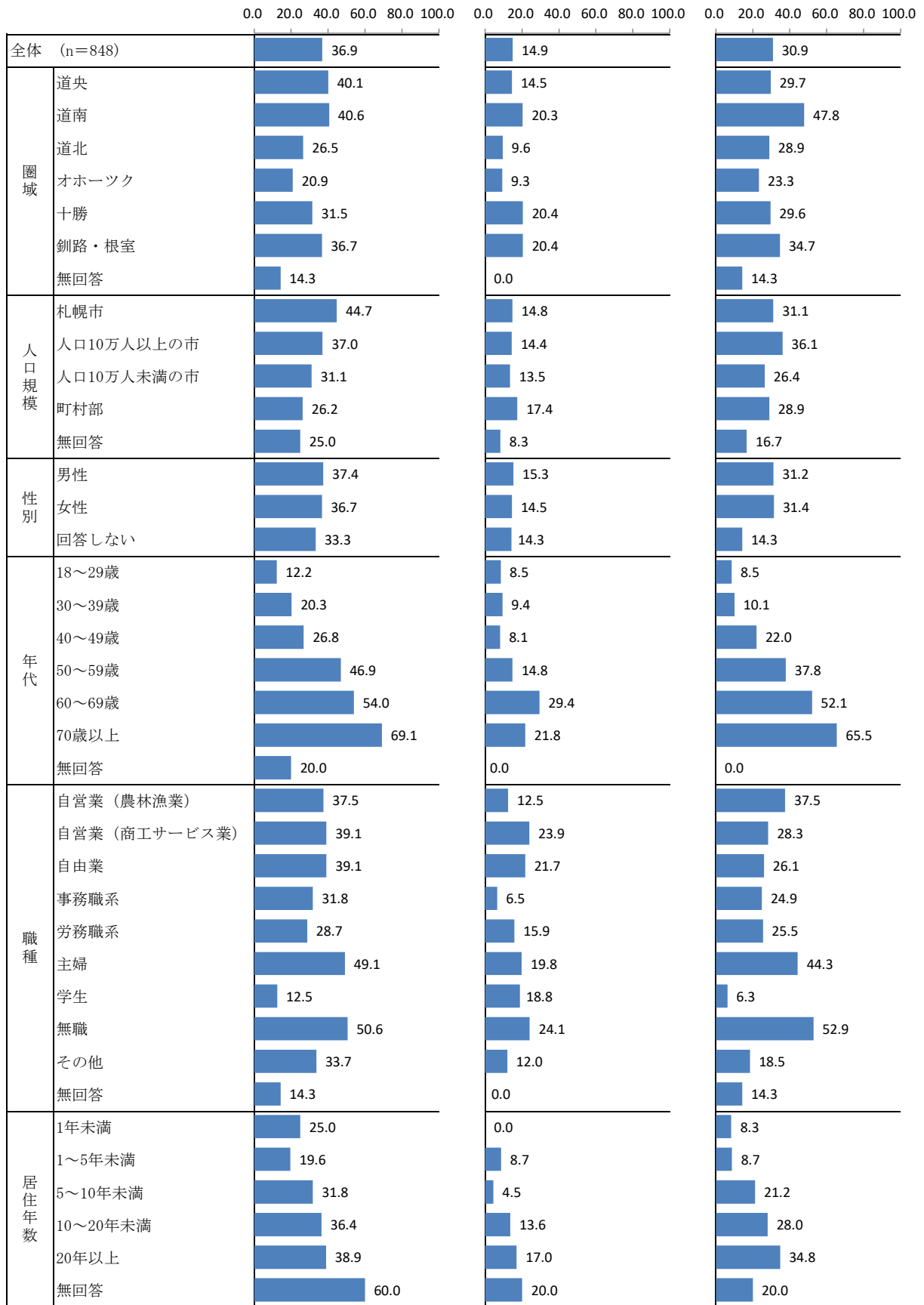
【居住年数別】

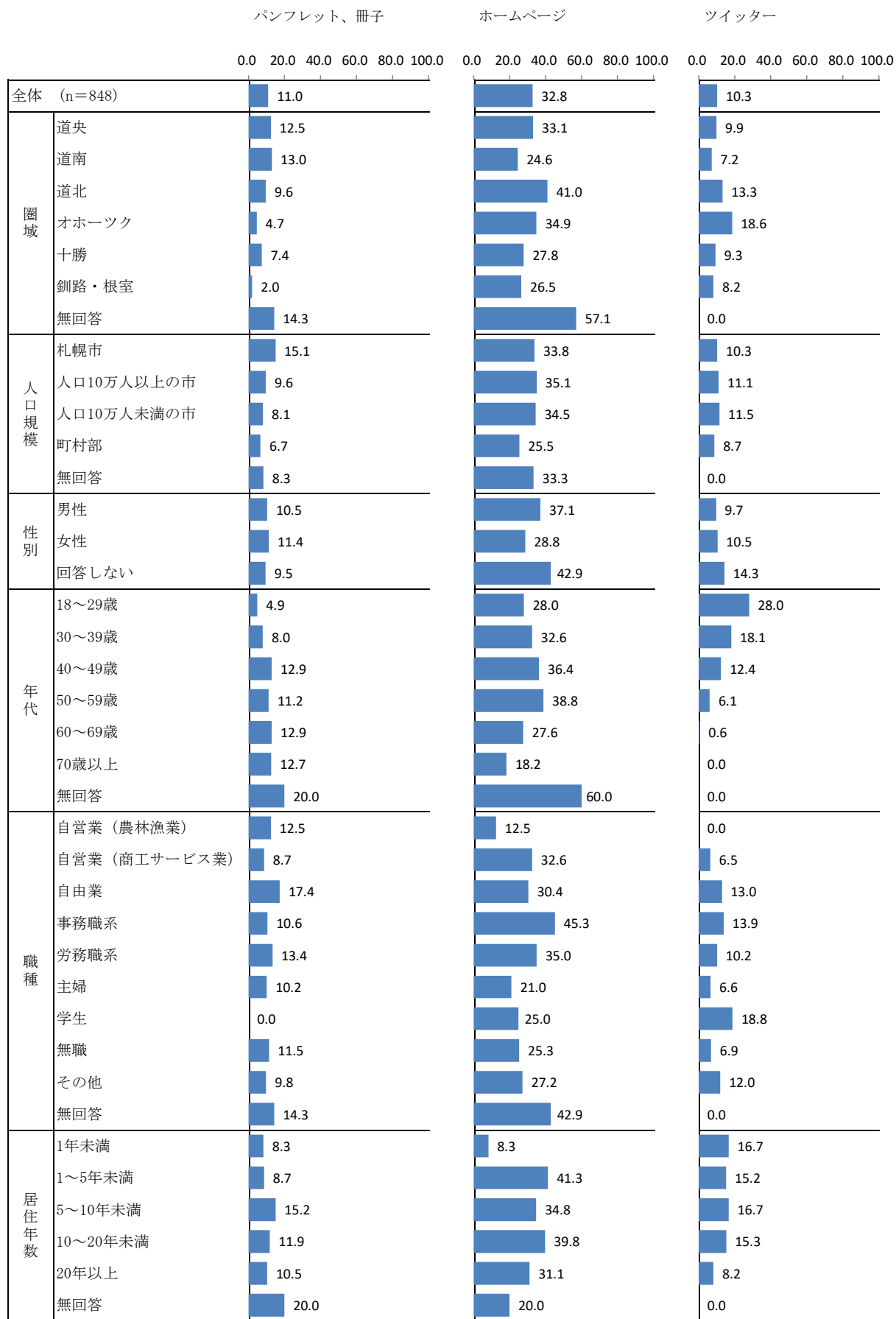
「広報紙「ほっかいどう」については、20年以上(38.9%)が最も割合が高く、次いで10～20年未満(36.4%)となっている。「ホームページ」については、1～5年未満(41.3%)が最も割合が高く、次いで10～20年未満(39.8%)となっている。

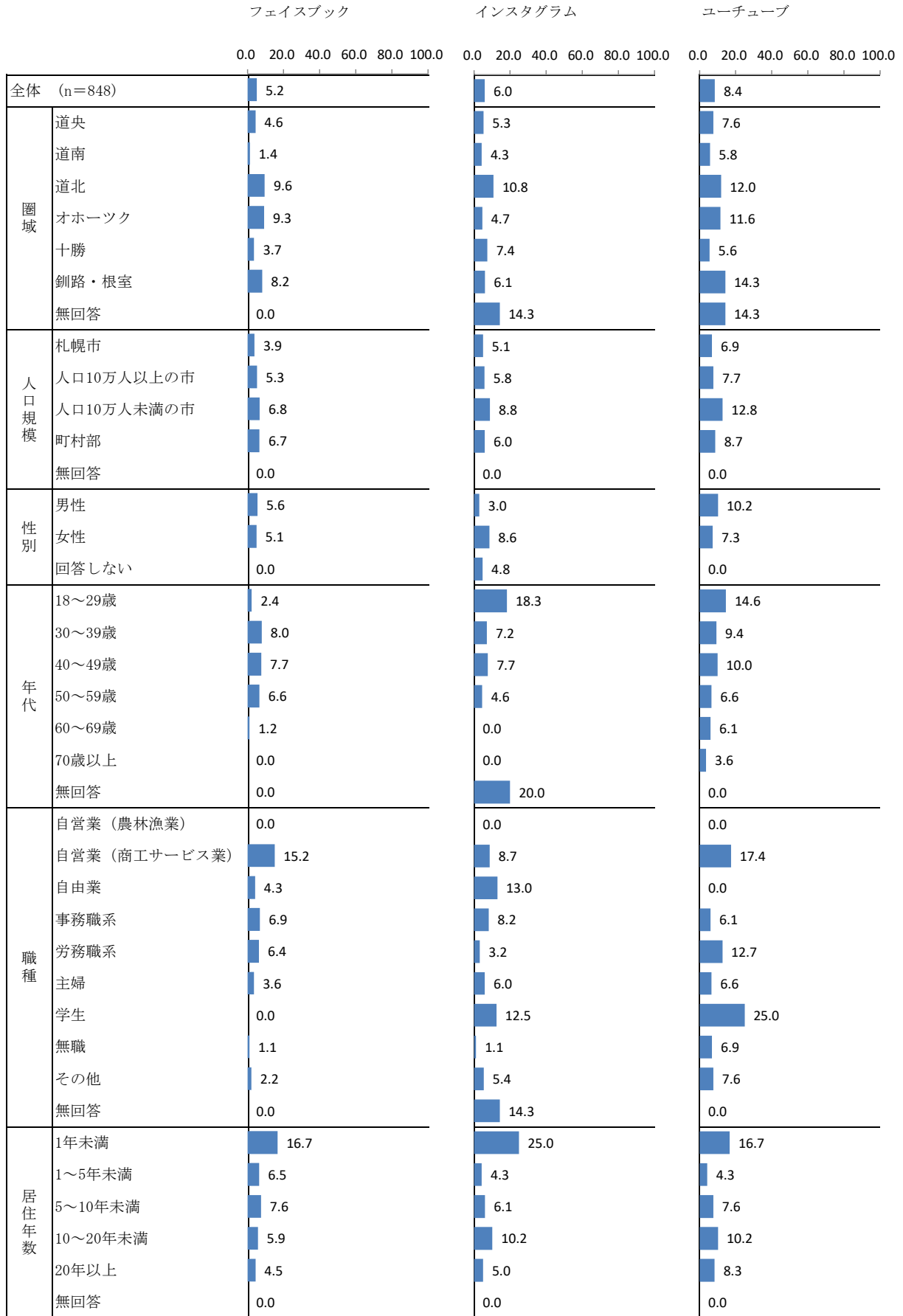
広報紙「ほっかいどう」

道政広報テレビ番組

新聞紙面利用広告



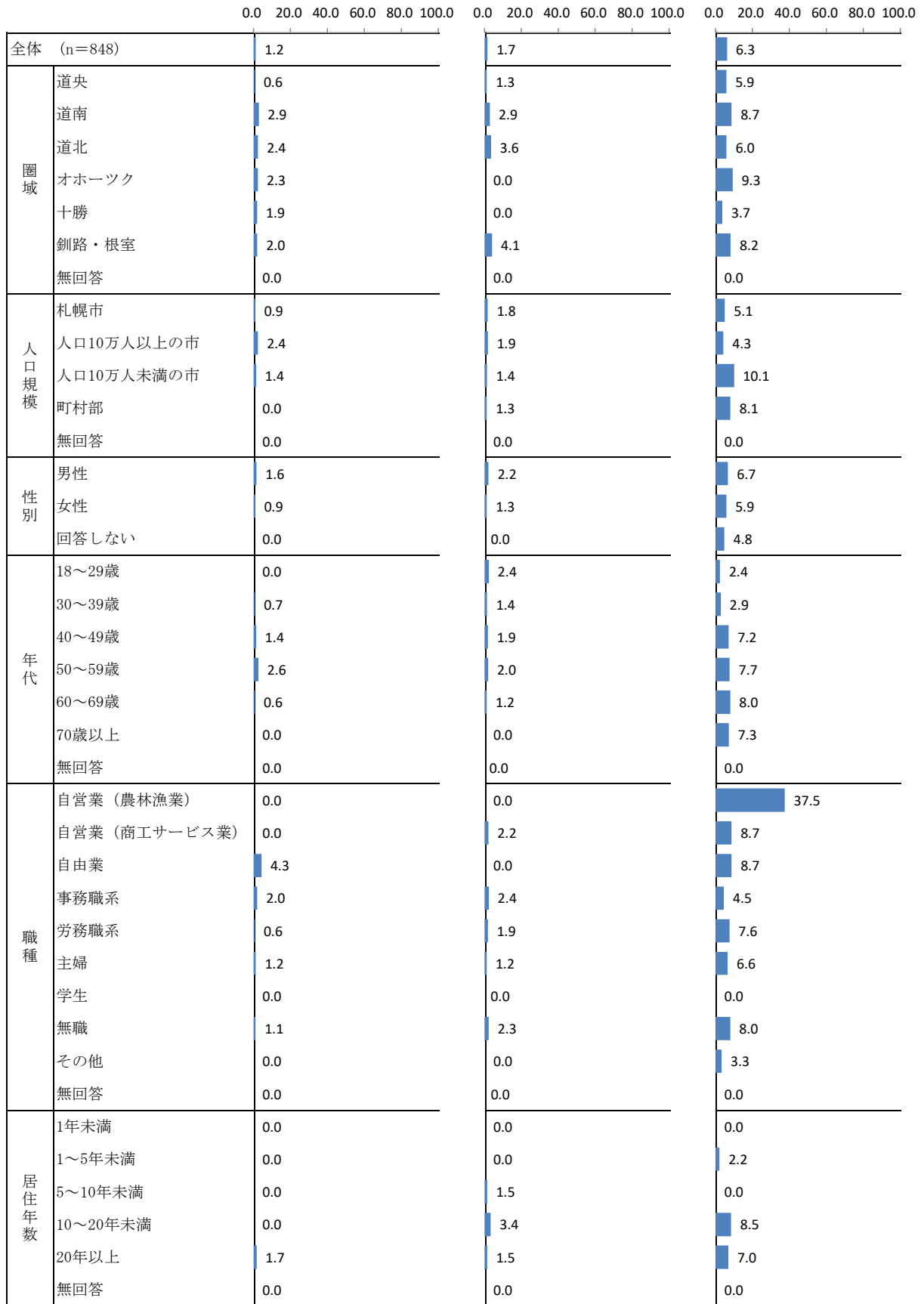


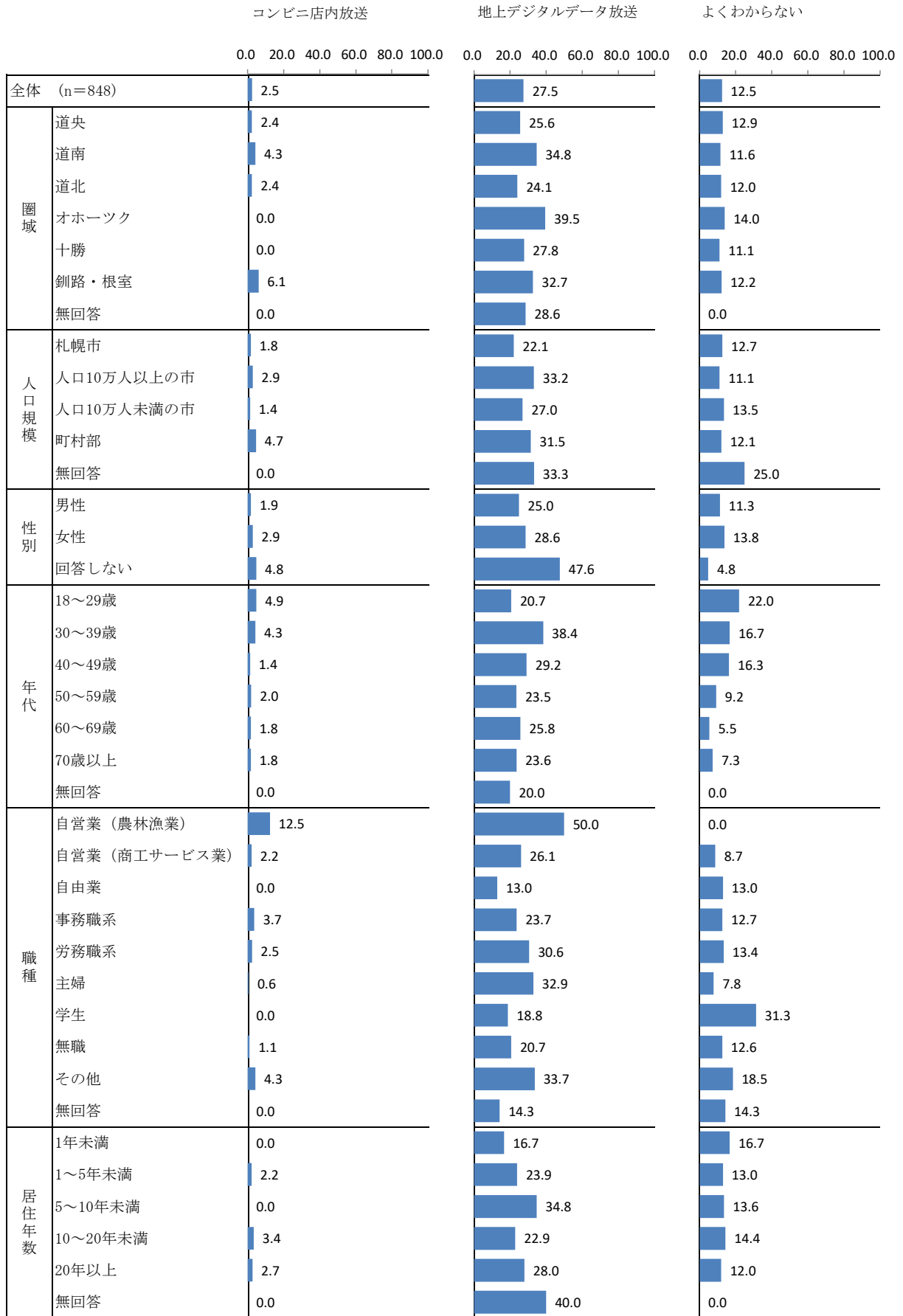


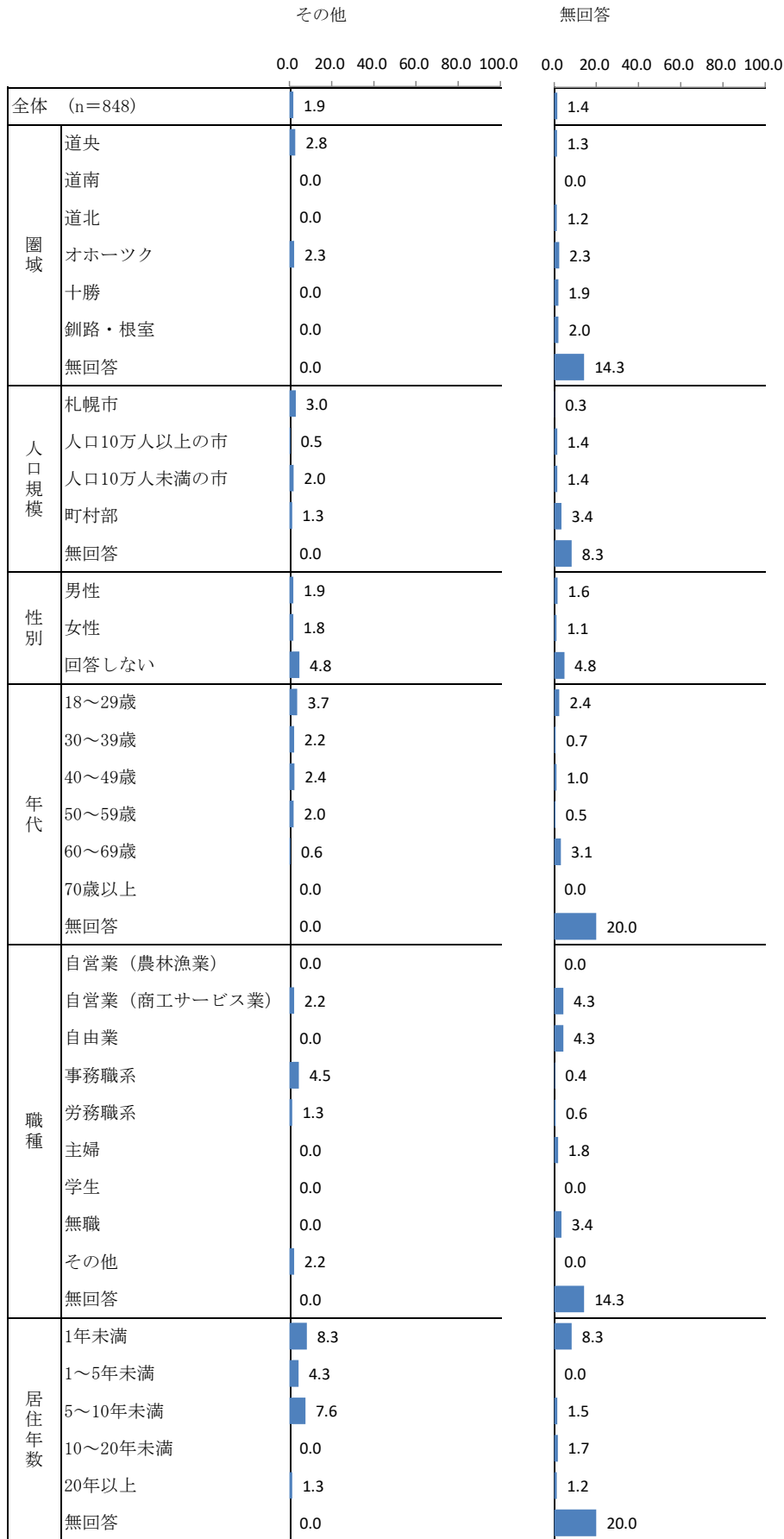
メールマガジン

ブログ

ラジオスポットCM







「北海道の広報活動について」の調査を終えて

道民の道政情報の入手手段を見ると、広報紙「ほっかいどう」が4割を超えているほか、新聞紙面利用広告やホームページなどの割合が高くなっている。

また、インターネットからの情報を入手する手段としては、スマートフォンが約8割、パソコンが約5割となっている。

さらに、今後、道政情報を入手する際に利用したい広報媒体としては、広報紙、ホームページ、新聞紙面利用広告などが引き続き高い割合となっている。年代別では、高齢者層は広報紙、新聞紙面利用広告の割合が高い一方、若年者層はツイッター等のSNSやユーチューブなど、主にスマートフォンによる利用が想定されるソーシャルメディアの支持が高くなっている。

今回の調査結果から、既存の紙による媒体の必要性に加え、インターネット（特にスマートフォン）による情報入手の需要の高さも認められることから、今後は、各媒体の特性を活かしながら、より一層相互補完を進めるなど、道民ニーズを踏まえた新たな広報のあり方を検討していく。

（総合政策部知事室広報広聴課）